

衆議院選挙の予定候補者発表にあたって

2016年12月5日 日本共産党石川県委員会

衆議院選挙・小選挙区をたたかう日本共産党の公認候補者として、石川二区 本田正和（ほんだ まさかず）67歳、を擁立します。

政府・与党の中から解散・総選挙の可能性がいわれる中、どのようなタイミングで選挙になっても、安倍政権の打倒、暴走政治を許さず、安民法制の廃止と集団的自衛権容認の閣議決定の撤回めざし、衆議院で「改憲勢力3分の2体制」を打破、自民・公明とその補完勢力を少数に追い込む絶好の機会として攻勢的に戦います。

日本共産党は、安倍暴走政治と正面から対決し、憲法違反の安民法制の廃止、憲法9条を生かした平和外交、ストップ「アベノミクス」、消費税増税中止、社会保障の改悪・年金切り下げ許さず、格差ただし経済に民主主義を確立する「4つの改革」、TPP協定許さず平等・互恵の経済関係の確立、「原発ゼロの日本」、再生エネルギー先進国へ、辺野古新基地建設反対などの政策をかかげ、勝利めざし全力で奮闘します。小選挙区の勝利と、比例・北陸信越ブロックの藤野やすふみ衆議院議員の再選を必ずやりぬく決意です。

同時に、9月23日の4野党1会派の党首会談で、総選挙の野党共闘を進めることが確認されています。自公とその補完勢力を少数に追い込み、安民法制廃止・立憲主義をとりもどす大義のために、小選挙区でもっとも効果的な選挙協力の態勢をつくりだすことは絶対に必要です。そのための真剣な努力を惜しむものではありません。同時に、野党共闘を成功させるためには、10月に戦われた新潟の県知事選の結果が示すように、安倍暴走政治と対決する「大義の旗」をかかげるために、豊かで魅力ある共通公約をつくりあげ、政権問題で前向きの合意をつくるとともに、野党が互いに信頼と敬意を通わせた「本気の共闘」に取り組む事が大事になっています。そうした立場で、本格的な野党共闘の実現めざし誠実に努力するものです。